

エコツアーリズム大賞

地球と人に優しい旅を！
日本のエコツアーリズムの担い手たち



エコツアーリズム大賞の概要	1
<small>審査委員長講評</small>	
「第6回エコツアーリズム大賞」の選考を終えて	1
第6回エコツアーリズム大賞の経緯	2
大賞受賞者の紹介	3
優秀賞受賞者の紹介	5
特別賞受賞者の紹介	6
応募団体一覧	8
応募状況	9

エコツーリズム大賞の概要

エコツーリズム大賞とは

エコツーリズム大賞は、エコツーリズムに取り組む事業者、団体、自治体などを対象に、優れた取組を表彰し、広く紹介するものです。全国のエコツーリズムに関連する活動の質的・量的向上並びに、情報交換等による関係者の連帯感の醸成を図ることを目的とし、平成17年度から行なっています。

応募対象

地域の自然環境や歴史文化を保全しつつそれらを体験する「エコツーリズム」に関連し、環境保全活動を取り入れた取組や、様々な自然体験（農林水産業体験や生活文化体験を通じた自然環境への理解につながる活動なども含む）の取組、その他の取組について、環境保全や地域活性化、良質な体験提供等の視点から特に優れた活動を行っている事業者、団体、自治体など（例：ツアー事業者、宿泊業者、交通事業者、コンサルタント、協議会、地域団体、学生団体、地方公共団体など）を対象とします。

過去の大賞受賞団体

- 第1回 ピッキオ（長野県）
- 第2回 ホールアース自然学校（静岡県）
- 第3回 認定特定非営利活動法人霧多布湿原トラスト（北海道）
- 第4回 飯能市・飯能市エコツーリズム推進協議会（埼玉県）
- 第5回 海島遊民くらぶ（有限会社オズ）（三重県）

審査委員長 講評

「第6回エコツーリズム大賞」の選考を終えて

東京大学大学院農学生命科学研究科教授 下村彰男



第6回目のエコツーリズム大賞の審査には総数68件の応募をいただきました。今回は申請時期が夏季に設定され、本業務が大変忙しい時期と重なったにもかかわらず、数多くの組織からご応募いただいたことにまずは感謝いたします。

今回も多様なタイプの組織からの応募があり、さらに組織や活動の多様化が進んでいると感じました。官・民あるいは複合型といった組織の性格、都市域から自然域に至る活動のフィールド、宿泊や移動（交通）、飲食など、ツアーを構成する個々の活動を担う組織から、ツアーのプログラムやガイド等を提供する組織、自然環境の保全にウェイトを置いている組織、まちづくりや地域振興などを総合的に展開している組織など、活動領域という点でも様々なタイプの組織からのエントリーがありました。

このように組織や活動が多様化する一方で、申請書からはそれぞれが新たなツーリズムのあり方を模索しつつ展開をはかっておられることがうかがえました。単に地域に人を集めるだけでなく地域資源の保全・育成を内包した

観光、人為の排除・軽減に止まらず順応的な管理を目指した自然環境保全、そして域内の人々だけではなく来訪した域外の人との協働を活用した地域づくりと、新たな価値観や発想のもとに活動展開を試みておられる姿が読み取れ心強く感じました。今後は、こうした活動を軌道に乗せ継続・持続させていくとともに、活動の複合性や総合性を目指すことが重要な課題となってくると考えています。今後の審査でもこれら点がポイントになるでしょう。

今回「大賞」を受賞された「黒潮実感センター」さんは、いわゆる派手な展開をされているわけではありませんが、小粒ながらも理念を大切に、総合的にかつ継続的に活動を展開されています。エコツーリズムは様々な側面を有していますが、本来は、それら個々の側面が相互に結びついた総合的なものであり、豊かな地域の暮らしを支えていく仕組みであると言えます。様々なジャンルから数多くの組織がエコツーリズムに取り組み、やがて総合的な活動に展開して地域づくりの核になっていくことを期待しています。

第6回 エコツーリズム大賞の経緯

募集期間 平成22年7月12日～8月25日
応募総数 68件
表彰式 平成22年9月25日



表彰式

受賞者一覧

大賞



特定非営利活動法人 黒潮実感センター（高知県）
高知県西南端 柏島・島がまるごとミュージアム

優秀賞

有限会社 リポーン
エコツーリズム・ネットワーク（東京都）
循環型社会のライフスタイルの提案がミッション
宮津市エコツーリズム推進協議会（京都府）
海・里・山と人の魅力から生まれる
天橋立プラスワンのエコツーリズム

特別賞

尾瀬認定ガイド協議会（群馬県）
みんなの尾瀬を みんなで守り みんなで楽しむ
社団法人 若狭三方五湖観光協会（福井県）
田舎っぷりが大自慢！海湖川里山でわんぱくろー！
特定非営利活動法人 霧ヶ峰基金（長野県）
次世代に霧ヶ峰を引き継ぐための
エコツーリズムの普及をめざす
特定非営利活動法人 五ヶ瀬自然学校（宮崎県）
人と自然、人と人をつなげる！五ヶ瀬自然学校

審査委員

審査委員長
下村 彰男 東京大学大学院農学生命科学研究科教授
奥山 隆哉 社団法人 日本旅行業協会理事・事務局長
海津 ゆりえ 特定非営利活動法人 日本エコツーリズム協会理事
佐藤 博康 松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科教授

高知県幡多郡大月町

大賞

特定非営利活動法人 黒潮実感センター 高知県西南端 柏島・島がまるごとミュージアム

講評

第2回エコツーリズム大賞の優秀賞を受賞しており、その後4年間の継続的な取組が評価された。前回受賞時よりエコツアーも質的・量的に向上し、実施地域も拡大している。現在、年間のツアー催行回数、参加者数ともに、4年前と比べ倍増している。高知県柏島を「島がまるごと博物館」と銘打ち、主な活動場所としている。「里海」をキーワードにし、「人が海からの豊かな恵みを楽しむだけでなく、人も海を耕し、育み、守る」ととらえ活動を続けている。



また山と海をつなぐ活動も展開しており、間伐で出た捨てられる枝葉をアオリイカの産卵床にし、海の中に人工の森を作っている。地元の子もたちが参加する環境教育として展開し、その活動は地元林業関係者、ダイバー、漁業者三位一体の取組につながっている。この活動は10年間続いており、近隣の市町村にも取組が広がってきている。そして漁業者とレジャー客との交流をはかる地元物産市(里海市)というイベント開催をきっかけに、実際に海産物の加工品を扱う店や郷土料理を扱う店が新たにオープンしている。同じフィールドを扱う漁業者とダイバーとの関係改善や、エコツーリズムによる地域活性化などのテーマで、単一地域のみならず全国各地から視察や講演の依頼が増えてきている。島をまるごとフィールドにし、地域住民を巻き込んだ継続的な活動が高く評価された。

応募の概要

高知県の柏島を「島をまるごと博物館」と捉え、持続可能な里海づくりを目指して活動している。

受賞の言葉

私たちは高知の西の端の小さな島に、職員わずか2名で活動している小さな団体です。それがこれまで12年間活動を継続することができたのは、地元の方々や全国各地のボランティアメンバー、センターの活動を支援してくださっている全国500名の友の会会員の方々、エコツアーに参加してくださったりリピーターの方々のご支援があったからに他なりません。まずはご支援下さった皆様に心より感謝いたします。私たちのフィールドである柏島は周囲わずか3.9kmの小さな島です。しかしながらその周りの海には日本有数の造礁サンゴが広がり、その数日本一の1000種を超える魚類が生息しています。私たちの活動は、先祖より受けたすばらしい自然環境や歴史文化といったものを、自分たちの時代で食い潰すのではなく、次代を担う子どもたちに残していくことです。私たちの活動は先祖から受け継いだすばらしい財産というタスキを、自分たちが走り続けることで一つでも二つでも順位を上げて次の代に渡そうと走り続ける駅伝ランナーに例えることができます。

自然環境の保全と利活用のバランスをいかにうまく取るかにエコツーリズムの成否はかかっていると断言しても過言ではないと思います。エコツーリズムという考え方を進めていくことで、次の時代の子もたちに胸が張れるような活動を今後も続けていきたいと思ひます。



活動内容

高知県西南端の島、柏島を「島が丸ごと博物館(ミュージアム)」と捉え、持続可能な里海づくりを目指して活動している。(1)自然を実感する取組(2)自然を活かした暮らし作りのお手伝い(3)自然と暮らしを守る取組の3つを活動の柱としている。里海を「人が海からの豊かな恵みを楽しむだけでなく、人も海を耕し、育み、守る」、人と海が共存できる海と捉え、これらの活動を地域住民や行政、大学等の様々な主体とともに進めている。

組織の沿革

代表者名：立川 涼
設立：1998年
所属人数：専任2名
 会員数500名

連絡先

〒788-0343
高知県幡多郡大月町柏島625
Tel: 0880-62-8022
e-mail: kuroshio@divers.ne.jp
web: <http://www.orquesta.org/kuroshio/>



優秀賞

有限会社 リボーン エコツーリズム・ネットワーク 循環型社会のライフスタイルの提案がミッション

講評



国内外の農家や伝統食品のつくり手と連携し、都市と農村漁村交流ツアーを行っている。エコツーリズムを基盤とした旅行会社として操業10年目を迎え、リピーターになっている固定ファンも多い。家庭や飲食店から出た廃油を用いたバスの運行、ツアー催行に早くから取り組んできたが、一過性の取組ではなく事業として継続できるよう各方面と協力している。あわせてエコツーリズムに関する普及啓発などを目的に2008年にNPO法人エコツーリズム・ネットワーク・ジャパンを設立。各企業との連携によりエコツアーを催行、環境と経済の好循環を生み出している点が評価された。

応募の概要

都市と農村を繋ぐ交流ツアーを行なう。廃油を用いたバスを運行するなどしている。

活動内容

エコツーリズムを基盤とした旅行会社として創業10年。循環型社会を創造するために会社はどんな役割を果たせるか。ツアーディレクターとインテプリターの連携プレーにより、主たるテーマを楽しく安全に学び、遊ぶことを達成させている。そして地域の宝(自然資源や文化や人)を発見し、協働し、人々に繋ぐのが自分達のミッションではないかと考え活動している。



組織の沿革
代表者名：吉岐 健一郎
設立：2000年
所属人数：社員4名
パートナースタッフ6名

連絡先
〒160-0022
東京都新宿区新宿2-2-1 ビューシティ新宿御苑1203
Tel: 03-5363-9216
e-mail: ikiken@reborn-japan.com web: <http://www.reborn-japan.com>

優秀賞

宮津市エコツーリズム推進協議会 海・里・山と人の魅力から生まれる 天橋立プラスワンのエコツーリズム

京都府宮津市

講評



構成団体が独自に進める事業をベースに協議会がそれらを繋ぎ、ガイドツアーとして体現するとともに、人材育成、ルールづくり等総合的に推進している。ツアーには天橋立のほか里山や歴史をめぐるガイドウォークなどがあり、自然以外にも地域の魅力を活用した多様なツアーが設定されている。周遊型になりがちだった従来のツアー形態を、地域の海・里・山の繋がりを来訪者が体感できる内容に転換しつつある。また市内の小中学生に「ふるさと学習」として、エコツアーガイドが子どもたちとともに地域を歩き、次世代に地域の魅力を再発見してもらい、地域への誇り作りにも一役買っている。従来の形からの転換、そして地域の各団体との幅広い連携が評価された。

応募の概要

地域の各種団体により構成。天橋立の他、地域の資源を軸にした周辺地域の地域振興を目指すエコツーリズムの仕組みづくりを進めている。



活動内容

天橋立と中山間地域の資源をつなごうと、2008年に宮津市エコツーリズム推進協議会が設立された。「天橋立プラスワン事業(天橋立+地域資源)」として、天橋立と天橋立を形成してきた周囲の海・里・山の豊かな自然のつながりを来訪者に体感していただく仕組みづくりに取り組んでいる。住民が主役となって観光地としての魅力づくりと周辺地域の地域振興を目指すエコツーリズムの仕組みづくりを進めている。

組織の沿革
代表者名：八尋 慈教
設立：2008年
所属人数：52名

連絡先
〒626-8501
京都府宮津市字柳縄手345-1 Tel: 0772-22-2121 (代表)
e-mail: sight@city.miyazu.kyoto.jp
web: <http://www.city.miyazu.kyoto.jp/~sight/ecotourism/top>

特別賞

尾瀬認定ガイド協議会

みんなの尾瀬を みんなで守り みんなで楽しむ

講評

尾瀬国立公園をフィールドとし、上記2つの認定を行っている。認定ガイドは2010年7月現在で145名が登録されているが、うち7割が地元在住者である。利用ルールがある程度整っている尾瀬において、エコツーリズム推進のためにガイド活用が不可欠としており、様々な方面にPRを行っている。こ



うした取組により、来訪者がガイドを依頼する人数は2003年の8%から2009年の19%へと増加している。また地元雇用の創出や宿泊業・輸送業などとの連携も評価された。



活動内容

関係行政・自然保護団体・ガイド事業者で協議会を設立し、「尾瀬自然ガイド」と「尾瀬登山ガイド」の2種類の認定を行っている。認定されたガイドは、協議会が年3回のガイド向け研修を行う事で、認定後のスキルアップを図っている。

組織の沿革

代表者名：塩田 政一
設立：2008年
所属人数：145名

連絡先

〒371-8570
群馬県前橋市大手町1-1-1
Tel: 027-220-4431 (事務局・尾瀬保護財団内)
web: 22年度末に開設予定



特別賞

社団法人 若狭三方五湖観光協会

田舎っぷりが大自慢！海湖川里山でわんぱくろー！

講評

1990年に「若狭三方五湖わんぱく隊」を開始。修学旅行や団体客向けのツアーを行っていたが、2007年から個人客向けエコツアー「若狭三方五湖まるかじりツーリズム」を開始。企画立案やPR活動などのエコツーリズム推進のための統括業務を行っている。国内だけでなく海外からのエコツアー客受け入れも行い、2009年には学生主催で「若狭三方五湖学生環境サミット」が開催されるなど、若狭の魅力を継続的に多様な手法で発信している点が評価された。



活動内容



ラムサール条約登録地「三方五湖」を含めた、海湖川里山が全てそろった若狭特有の自然環境を活かし、「若狭三方五湖わんぱく隊」の活動を行っている。「若狭でしかできないエコツアー」を展開し、本年度で21年目を迎えている。



組織の沿革

代表者名：森下 幸一
設立：1963年
所属人数：常勤5名

連絡先

〒919-1303 福井県三方上中郡若狭町三方39-5-2
Tel: 0770-45-0113 e-mail: wakasa@wakasa-mikatagoko.jp
web: <http://www.wakasa-mikatagoko.jp/>
<http://www.wanpakutai.com/>

特別賞

特定非営利活動法人 霧ヶ峰基金

長野県諏訪郡下諏訪町

次世代に霧ヶ峰を引き継ぐための エコツーリズムの普及をめざす

講評

長野県霧ヶ峰で、草原再生事業などの環境保全やエコツアーを行っている。エコツアー等により生まれた利益を環境保全活動にあて、霧ヶ峰の魅力維持に努めている。また手ぬぐいやポストカードなどオリジナルグッズの制作・販売を行い、各地にファンも多い。霧ヶ峰の環境保全に多様に取り組むとともに、地元イベントの諏訪温泉泊覧会ズーラではエコツアーを実施するなど、エコツアー参加以外を目的に訪れた来訪者にも、エコツアーを通し霧ヶ峰の魅力を伝える活動を行うなど、地道な活動が評価された。



活動内容



霧ヶ峰を訪れた方に、その魅力をゆっくりと満喫していただける機会を提供している。生まれた利益などを霧ヶ峰の環境保全、魅力の維持・改善に役立てている。このように持続可能な形で、霧ヶ峰型エコツーリズムの普及をはかり、確立をしている。



組織の沿革
代表者名：小原 宏文
設立：2006年
所属人数：正会員 10名
賛助会員 65名

連絡先
〒393-0061
長野県下諏訪町御田町 3236 番地 Takafactory2F
Tel: 090-9668-3380
e-mail: kirigamine.kikin@gmail.com
web: <http://kirigamine-fund.jp>

特別賞

特定非営利活動法人 五ヶ瀬自然学校

宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町

人と自然、人と人をつなげる！ 五ヶ瀬自然学校

講評

水の豊かな五ヶ瀬町で継続的に活動している。地域の清流はもとよりダム湖をも上手く利用してカヌーツアーなどを行っている。また地域活性化の取組も行い、特に子どもたちに対しての取組が特徴的であり、子どもたちの地域環境との関係深化に取り組んでいる。そして子どもたちが将来五ヶ瀬に町に帰って子育てが出来るよう、次の世代を見越して、地元米のブランド化や農産物の加工など広く雇用創出にも取り組むなど、地域づくりへの幅広い関与が評価された。

活動内容

豊かな自然と人間味あふれる人を主体とし、自然学校という手法を使って地域を活性化している。高齢化、少子化が急速に進む中で、放課後毎日子ども教室を開催し、地域の子どもたちに地域の大人が関わり育成する。その他体験型観光の確立、伝統芸能の継承などを行っている。



組織の沿革
代表者名：杉田 英治
設立：2005年
所属人数：職員 8名
会員 24名

連絡先
〒882-1201
宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町大字鞍岡 2840
Tel: 0982-73-6366
e-mail: gns@gokase.org
web: <http://www.gokase.org>



応募団体一覧

都道府県	名称
北海道	株式会社 ツーリズムてしかが
	ゆっくりずむ北海道
青森県	NPO 法人 白神自然学校一ツ森校
福島県	猪苗代の自然を守る会
	NPO 法人 わかば自然学校
群馬県	尾瀬認定ガイド協議会
東京都	財団法人 日本野鳥の会
	株式会社 EGGS
	株式会社 ナクア ホテル & リゾート マネジメント
	株式会社 JTB 法人東京
	アウトドアスペース風魔
	有限会社 リポーン エコツーリズム・ネットワーク
	interblue
	株式会社パーパスジャパン
あそんで学ぶ環境と科学倶楽部	
神奈川県	Nature Guide LIS
新潟県	柏崎・夢の森公園(柏崎市)
福井県	社団法人 若狭三方五湖観光協会
山梨県	富士山登山学校ごうりき(株式会社 合力)
長野県	おんたけアドベンチャー
	NPO 法人霧ヶ峰基金
	NPO 法人調和の響きエコツーリズムネットワーク
岐阜県	飛騨・北アルプス自然文化センター
	NPO 法人 ぎふスローライフ市民フォーラム
	飛騨里山サイクリング (運営会社 株式会社美ら地球 / ちゅらぼし)
	アウトドアサポートシステム 乗鞍上高地プランチ
静岡県	株式会社ミダック
愛知県	株式会社パワーゾーン
三重県	特定非営利活動法人赤目四十八滝渓谷保勝会
	鳥羽市エコツーリズム推進協議会
	紀南ツアーデザインセンター
滋賀県	早崎ピオトーブネットワーク
	蒲生野考現倶楽部水のかけ橋 JAPAN
	湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部
	針江生水の郷委員会
	有限会社 地域観光プロデュースセンター
京都府	ヒンダスポーツ観光株式会社
	宮津市エコツーリズム推進協議会
	宇川温泉 よし野の里
大阪府	株式会社農協観光西日本グリーンツーリズム支店
	アロマテラピー & ハーブ MaNa
	モンベル アウトドア チャレンジ
	株式会社コスモトラベルサービス アイザーコーポレーション株式会社
兵庫県	六甲摩耶観光推進協議会
	西淀自然文化協会
奈良県	EverGreen
和歌山県	株式会社 串本海中公園センター
鳥取県	大山・中海・隠岐エコツーリズム協議会

都道府県	名称
広島県	世羅高原 6 次産業ネットワーク
徳島県	観光登山シリーズ「木沢の山と花と温泉ツアー」
香川県	小豆島ふるさと村
愛媛県	うわじまアウトドアスポーツクラブ(宇和島山岳会)
	西条自然学校
	グッドリバー よろず体験事務所 をかしや
高知県	海癒
	紙漉き体験民宿 かみこや
	NPO 法人黒潮実感センター
	カヌートレック 四万十塾
佐賀県	やまばと山村留学『短期留学』 (やまばと山村留学実行委員会)
	アジア小農法研究所主宰
熊本県	NPO 法人 阿蘇ミュージアム
宮崎県	NPO 法人 五ヶ瀬自然学校
	梢回廊キャノピー
鹿児島県	Earthly Company
	かごしまカヤックス
沖縄県	エコガイドカフェ(エコツーラボ合同会社)

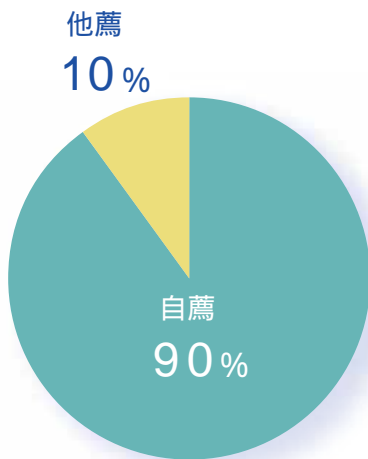


'10 ECOTOURISM AWARD

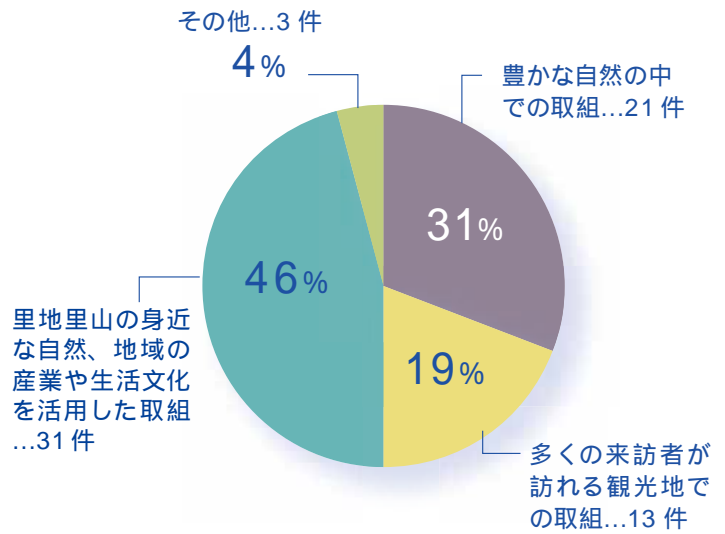
応募状況

第6回エコツーリズム大賞へ応募があった68件を、「応募主体」「地域特性」「対象主体類型」「設立年」ごとに集計。さらに「全国応募状況」として都道府県ごとにまとめた。

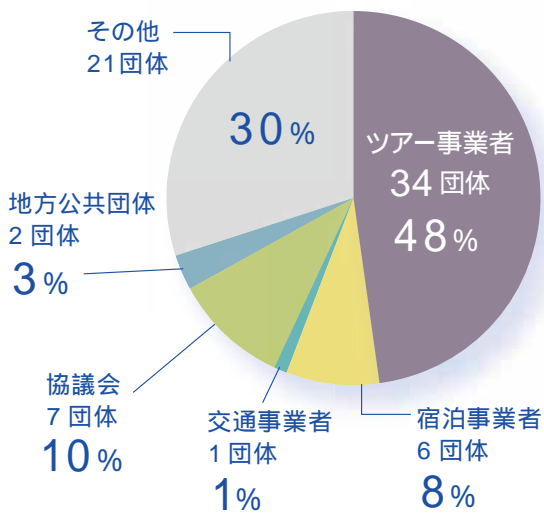
応募主体



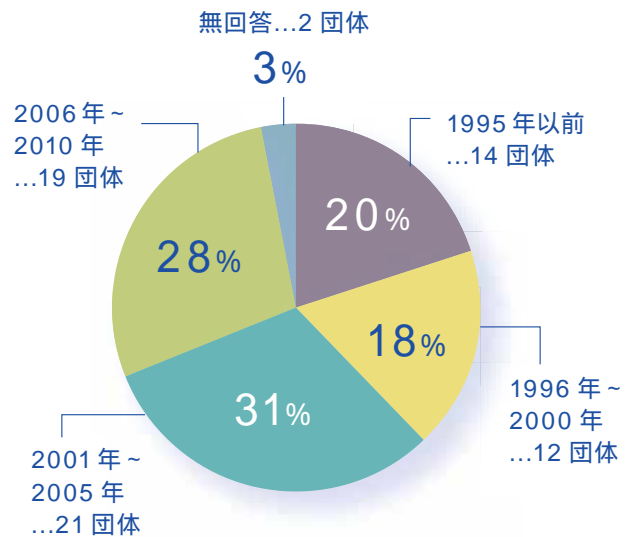
地域特性



対象主体類型

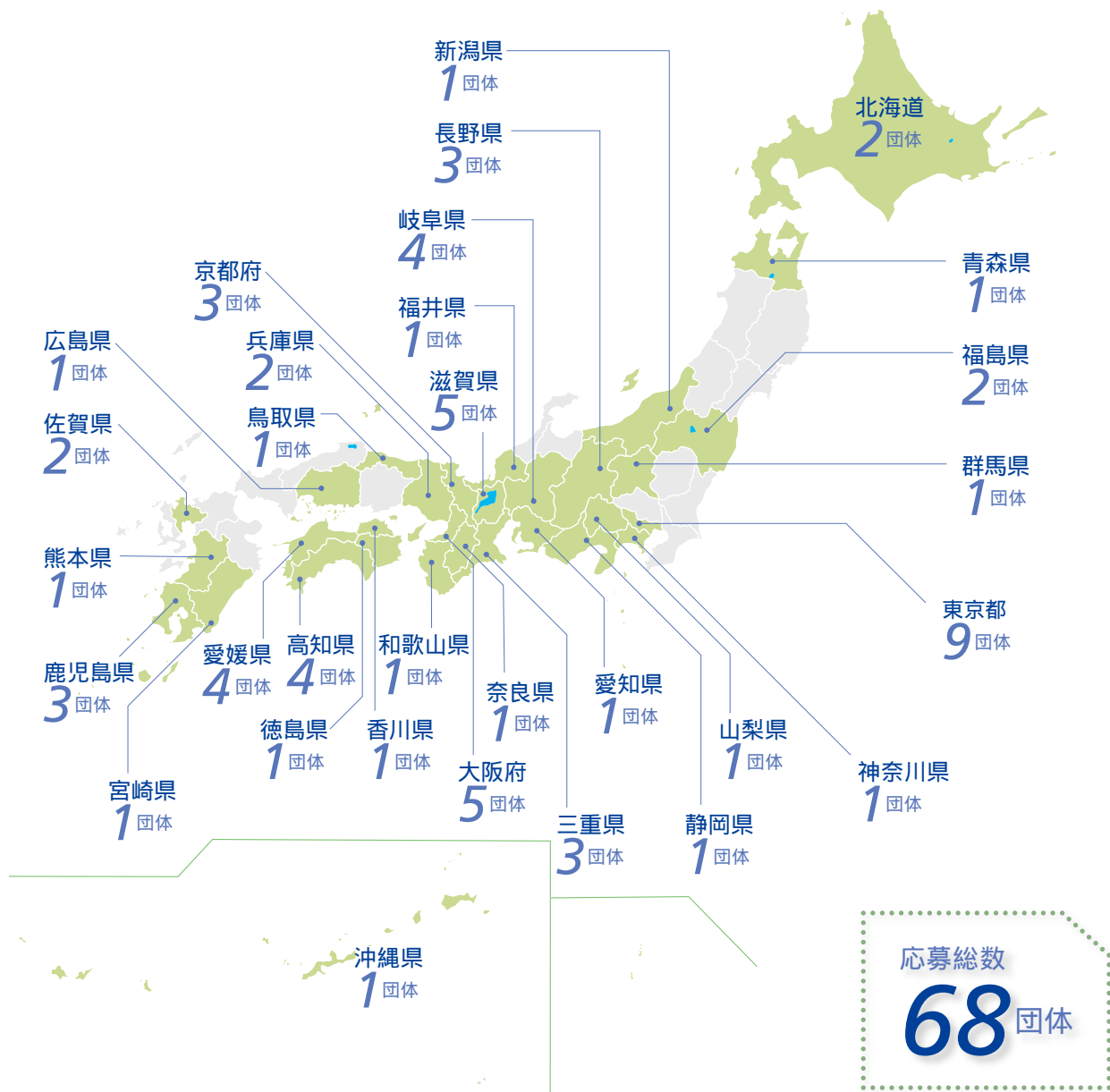


設立年





全国応募状況



「第7回エコツーリズム大賞」募集のご案内

募集対象

エコツーリズムへの優れた取組事例を募集します。

取組の例

- ・ 地域におけるエコツーリズム推進団体の設立と運営
- ・ 保全利用協定やガイドラインなどのルールづくりやその継続
- ・ 農業体験や校外学習などと連携したエコツアーの実践
- ・ 環境への配慮や環境保全への貢献
- ・ エコツアー等の情報提供の取組
- ・ 環境保全や地域振興への観光収益の還元システムづくり
- ・ エコツアーにおけるゴミの削減や環境負荷の低減
- ・ エコツアーのマーケティングや斡旋などを含めたエコツアー事業の運営など



表彰

エコツーリズム大賞(1点)、エコツーリズム優秀賞と特別賞各数点を予定しています。

*受賞者には表彰状と副賞を授与します。

応募資格

1. エコツーリズムに取り組む団体(事業者、企業、地方自治体、地域のグループ等)
2. 経験年数、法人格の有無、種類は問いません。
3. 自薦、他薦の別を問いません。
4. 過去の優秀賞・特別賞受賞者も応募可能です。

募集時期

2011年夏頃予定。詳細は環境省ホームページでご案内する予定です。

(<http://www.env.go.jp/>)

審査

エコツーリズム大賞審査委員会において各賞を選定し、環境大臣が決定します。

決定後受賞者に通知し、表彰式を行います。



発行日： 2010年11月

発行： 環境省自然環境局総務課自然ふれあい推進室
〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2
TEL：03-3581-3351 FAX：03-3508-9278
<http://www.env.go.jp/>

制作協力： NPO法人 日本エコツーリズム協会 Japan Ecotourism Society (JES)